



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月14日

上場会社名 藤井産業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9906 URL <https://www.fujii.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 昌一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員コーポレート本部長 (氏名) 渡邊 純一 TEL 028(662)6060
 配当支払開始予定日 -
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	67,232	5.1	3,044	△5.5	3,554	△3.6	2,194	△6.7
2024年3月期第3四半期	63,986	9.1	3,222	36.9	3,688	33.7	2,351	36.8

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 2,301百万円(△13.7%) 2024年3月期第3四半期 2,668百万円(46.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	259.51	—
2024年3月期第3四半期	277.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	63,377	38,122	56.4	4,227.00
2024年3月期	64,630	36,730	53.3	4,071.45

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 35,745百万円 2024年3月期 34,430百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	25.00	—	75.00	100.00
2025年3月期	—	25.00	—		
2025年3月期(予想)				75.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	98,000	7.6	4,600	△7.4	5,200	△6.9	3,400	△7.0	401.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	10,010,000株	2024年3月期	10,010,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	1,553,436株	2024年3月期	1,553,375株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	8,456,593株	2024年3月期3Q	8,461,425株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(収益認識関係)	11
3. その他	12
継続企業の前提に関する重要事象等	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、年末需要や旺盛なインバウンド需要の増加などにより、景気は緩やかな持ち直し傾向が見られました。一方で、引き続き原材料価格や資源価格の高騰、物価上昇などコスト負担の増加に加え、米新大統領の経済政策や中東などの地政学リスクもあり、今後も先行き不透明な状況が続くと思われます。

このような状況の下、当社グループは、「常に時代に対応し、新たな価値を創造しつづける企業グループ」を目指し、持続的な成長と更なる企業価値の向上を図るべく事業展開をしております。

当第3四半期連結累計期間における連結成績は、売上高672億32百万円(前年同四半期比5.1%増)となりました。収益面につきましては、資材価格の高騰や円安による物価上昇に加え、積極的な人材確保やIT関連投資を行った結果、経常利益35億54百万円(前年同四半期比3.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、21億94百万円(前年同四半期比6.7%減)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

(マテリアルイノベーションズカンパニー)

電設資材事業は、LED照明や電設盤・キュービクル、パッケージエアコンなど非住宅件名が全ての営業エリアにおいて順調に納入され、前期を上回る売上高となりました。

建設資材事業は、県内や仙台が低調に推移しましたが茨城、埼玉エリアにおける大型物件が順調に進捗し前期を上回る売上高となりました。

情報ソリューション事業は、情報通信工事が本社及び千葉エリアで堅調に推移し、情報インフラ関連は文教と病院向けPCが順調に推移したことにより、前期を上回る売上高となりました。

コンクリート圧送は、受注が順調に推移し前期を上回る売上高となりました。

この結果、売上高は371億25百万円(前年同四半期比5.8%増)となりました。

(インフラソリューションズカンパニー)

機器制御事業は、医療機器関連、半導体関連、物流関連を中心に主力製品の販売や設備投資案件が堅調に推移し、前期を上回る売上高となりました。

総合建築事業は、本社エリアは堅調に推移したものの、東京、東北、名古屋エリアでの着工の延期などの影響により前期を下回る売上高となりました。

環境エネルギー事業は前期にありました大型案件の反動により前期を下回る売上高となりました。

設備システム事業は、本社および新規出店した埼玉エリアで堅調な推移となり前期を上回る売上高となりました。

この結果、売上高は234億27百万円(前年同四半期比5.2%増)となりました。

(コマツ栃木)

土木建設機械事業は、新車販売を中心に前年度売上は順調に増加しましたが、今期はその反動と県内公共投資や土木工事の低調も重なり、サービスマンテナンスも含め、前期を下回る売上高となりました。

この結果、売上高は53億42百万円(前年同四半期比0.4%減)となりました。

(その他)

再生可能エネルギー発電は、天候等の影響がありつつも前期並みの売上高になりました。路面切削工事は、受注が堅調に推移し、前期を上回る売上高になりました。計測機器等の販売は、受注が堅調に推移し、前期を上回る売上高になりました。

この結果、売上高は13億36百万円(前年同四半期比6.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態の状況は、次のとおりであります。

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ12億53百万円減少し、633億77百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ28億54百万円減少し、475億31百万円となりました。これは、受取手形、売掛金及び契約資産が減少したことが主な要因であります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ16億1百万円増加し、158億46百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ29億56百万円減少し、222億34百万円となりました。これは、未払法人税等が減少したことが主な要因であります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ3億11百万円増加し、30億19百万円となりました。なお、純資産は、前連結会計年度末に比べ13億92百万円増加し、381億22百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、現時点において2024年5月15日公表の業績予想から変更しておりません。なお、業績予想の修正が必要となった場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,143,485	19,641,864
受取手形、売掛金及び契約資産	25,351,174	20,958,436
商品	3,497,643	3,627,385
未成工事支出金	1,114,891	1,914,655
原材料及び貯蔵品	8,059	7,864
その他	2,360,942	1,456,694
貸倒引当金	△90,843	△75,732
流動資産合計	50,385,354	47,531,168
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,709,061	2,597,610
機械装置及び運搬具（純額）	2,336,174	2,229,440
土地	3,183,449	3,183,449
その他（純額）	767,279	2,182,249
有形固定資産合計	8,995,965	10,192,749
無形固定資産		
のれん	84,369	48,211
その他	67,793	118,351
無形固定資産合計	152,162	166,562
投資その他の資産		
投資有価証券	3,630,180	4,123,316
その他	1,596,334	1,484,599
貸倒引当金	△129,634	△121,045
投資その他の資産合計	5,096,880	5,486,870
固定資産合計	14,245,007	15,846,183
資産合計	64,630,362	63,377,351

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,128,433	16,302,568
短期借入金	1,000,000	700,000
未払法人税等	1,259,484	346,229
契約負債	3,327,167	2,917,495
賞与引当金	1,079,300	619,186
役員賞与引当金	138,600	106,500
1年内償還予定の社債	6,000	—
その他	1,252,321	1,242,679
流動負債合計	25,191,306	22,234,659
固定負債		
社債	60,000	60,000
役員退職慰労引当金	25,839	30,047
退職給付に係る負債	997,431	1,022,874
その他	1,625,036	1,906,839
固定負債合計	2,708,307	3,019,761
負債合計	27,899,614	25,254,421
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,883,650	1,883,650
資本剰余金	2,075,687	2,075,627
利益剰余金	30,409,424	31,757,212
自己株式	△970,478	△970,641
株主資本合計	33,398,283	34,745,848
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	999,194	967,080
退職給付に係る調整累計額	33,217	32,961
その他の包括利益累計額合計	1,032,411	1,000,042
非支配株主持分	2,300,052	2,377,039
純資産合計	36,730,747	38,122,930
負債純資産合計	64,630,362	63,377,351

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	63,986,934	67,232,333
売上原価	53,445,812	56,527,482
売上総利益	10,541,121	10,704,851
販売費及び一般管理費	7,318,401	7,660,758
営業利益	3,222,720	3,044,092
営業外収益		
受取利息	3,459	3,324
受取配当金	88,435	103,109
仕入割引	216,658	228,371
受取賃貸料	37,534	44,775
持分法による投資利益	24,069	36,206
貸倒引当金戻入額	—	23,699
業務受託料	—	64,214
その他	140,958	67,360
営業外収益合計	511,116	571,062
営業外費用		
支払利息	8,808	25,369
賃貸費用	11,399	11,605
保守補償費用	13,638	10,890
その他	11,901	12,304
営業外費用合計	45,747	60,170
経常利益	3,688,088	3,554,984
特別利益		
投資有価証券売却益	70,280	20,587
特別利益合計	70,280	20,587
税金等調整前四半期純利益	3,758,369	3,575,572
法人税等	1,254,928	1,235,836
四半期純利益	2,503,441	2,339,735
非支配株主に帰属する四半期純利益	151,946	145,193
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,351,495	2,194,542

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	2,503,441	2,339,735
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	166,204	△39,657
退職給付に係る調整額	595	△255
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,178	1,737
その他の包括利益合計	164,621	△38,175
四半期包括利益	2,668,063	2,301,560
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,483,631	2,162,173
非支配株主に係る四半期包括利益	184,431	139,386

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年6月28日 定時株主総会	普通株式	423,381	50	2023年3月31日	2023年6月29日	利益剰余金
2023年11月13日 取締役会	普通株式	211,689	25	2023年9月30日	2023年11月30日	利益剰余金

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年6月27日 定時株主総会	普通株式	635,066	75	2024年3月31日	2024年6月28日	利益剰余金
2024年11月13日 取締役会	普通株式	211,688	25	2024年9月30日	2024年11月29日	利益剰余金

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	マテリアル イノベーションズ カンパニー	インフラ ソリューションズ カンパニー	コマツ栃木	計		
売上高						
北関東エリア	24,974,745	13,668,442	5,361,800	44,004,988	1,090,650	45,095,638
首都圏エリア	9,384,606	4,464,622	—	13,849,229	—	13,849,229
東北エリア	744,086	2,162,158	—	2,906,245	—	2,906,245
その他	—	1,974,119	—	1,974,119	161,701	2,135,820
顧客との契約から生じる収益	35,103,439	22,269,342	5,361,800	62,734,582	1,252,351	63,986,934
外部顧客への売上高	35,103,439	22,269,342	5,361,800	62,734,582	1,252,351	63,986,934
セグメント間の内部売上高又は振替高	27,343	20,295	1,669	49,308	5,812	55,120
計	35,130,783	22,289,638	5,363,470	62,783,891	1,258,164	64,042,055
セグメント利益	1,603,096	1,254,724	549,628	3,407,450	314,737	3,722,187

(注) 1 北関東エリアは、茨城県、栃木県、群馬県における売上高であります。

2 首都圏エリアは、埼玉県、東京都、千葉県における売上高であります。

3 東北エリアは、宮城県、福島県における売上高であります。

4 その他は、上記エリア以外における売上高であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,407,450
「その他」の区分の利益	314,737
持分法による投資利益	24,069
配賦不能全社損益(注)	△54,537
その他の調整額	△3,630
四半期連結損益計算書の経常利益	3,688,088

(注) 配賦不能全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない当社コーポレート本部の一般管理費及び営業外損益であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	マテリアル イノベーションズ カンパニー	インフラ ソリューションズ カンパニー	コマツ栃木	計		
売上高						
北関東エリア	25,412,996	15,410,834	5,342,586	46,166,416	1,171,755	47,338,172
首都圏エリア	10,896,402	4,671,487	—	15,567,889	—	15,567,889
東北エリア	816,383	1,849,092	—	2,665,476	—	2,665,476
その他	—	1,495,620	—	1,495,620	165,174	1,660,795
顧客との契約から生じる収益	37,125,781	23,427,034	5,342,586	65,895,403	1,336,930	67,232,333
外部顧客への売上高	37,125,781	23,427,034	5,342,586	65,895,403	1,336,930	67,232,333
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	74,244	10,520	1,653	86,418	4,344	90,763
計	37,200,026	23,437,555	5,344,240	65,981,822	1,341,274	67,323,096
セグメント利益	1,895,000	792,032	531,659	3,218,692	327,931	3,546,623

(注) 1 北関東エリアは、茨城県、栃木県、群馬県における売上高であります。

2 首都圏エリアは、埼玉県、東京都、千葉県における売上高であります。

3 東北エリアは、宮城県、福島県における売上高であります。

4 その他は、上記エリア以外における売上高であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,218,692
「その他」の区分の利益	327,931
持分法による投資利益	36,206
配賦不能全社損益(注)	△37,166
その他の調整額	9,321
四半期連結損益計算書の経常利益	3,554,984

(注) 配賦不能全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない当社コーポレート本部の一般管理費及び営業外損益であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	531,476千円	511,588千円
のれんの償却額	36,158	36,158

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。